NEWS RELEASE

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

2025 年 9 月 29 日

各 位

日本特殊陶業株式会社

日本特殊陶業　東芝ブレイブルーパス東京と 2025-26 シーズン　プラチナパートナー契約を締結

Niterra グループ 日本特殊陶業株式会社（社長：川合尊、本社：名古屋市東区）は、ジャパンラグビー リーグワン所属チーム「東芝ブレイブルーパス東京」（以下、「BL 東京」）と、2025-26 シーズンのプラチナパートナー契約を締結したことをお知らせいたします。

■ プラチナパートナー契約に至った背景

当社は、グループ会社である株式会社日特スパークテック WKS（さつま工場：鹿児島県薩摩郡さつま町）が社会人ラグビーチームとしてトップキュウシュウリーグに所属しており、もともとラグビーとの親和性が高かったことに加え、本年 6 月に東芝マテリアル株式会社（当時）の全株式を取得し、株式会社 Niterra Materials として子会社化するなど、東芝グループとも関係性がございます。

また、ここ 20 年ほど BL 東京のキャンプ地が、鹿児島で実施されているという地域的なご縁もあり、プラチナパートナーとして協賛させていただく運びとなりました。

■ 契約内容

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE2025-26 シーズン（12 月 13 日開幕）における BL 東京のプラチナパートナー

【同協賛特典】

・公式戦ユニフォーム ロゴ掲出
　（日本特殊陶業、Niterra Materials のロゴ掲出）
・クラブ公式 Web サイト内 パートナー一覧当社ロゴ掲出
・ホストゲーム時、スタジアム内設置 パートナー一覧社名掲出
・パートナーである旨の呼称権
・チーム公式印刷物にパートナーとして社名を掲載
・ホストゲームで使用されるインタビューボード当社ロゴ掲出
・ホストゲームで使用されるピッチ内看板 当社ロゴ掲出
・SNS 及び配布物等クラブ情報発信への当社ロゴ掲出



名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

■　東芝ブレイブルーパス東京について

ジャパンラグビー リーグワンに所属し、同リーグを２連覇中。リーチ・マイケルをはじめとする数多くの日本代表を輩出する名門チーム。東芝　府中事業所敷地内グランド（東京都府中市）をホームグラウンドとして活動している。

これまで最上位リーグで 13 回の優勝を誇る強豪チームでもある（ジャパンラグビーリーグワン 2 回：2023-24・2024-25、トップリーグ 5 回：2004・2005・2006・2008・2009、関東社会人リーグ/東日本社会人リーグ６回:1983･1993･1994･1996・1997・1999）



＜沿革＞

1948 年）東芝府中工場のラグビー部として発足。

2003 年）トップリーグ開幕と同時に名称を「東芝府中ブレイブルーパス」に変更。（2006 年からは「東芝ブレイブルーパス」）

2022 年）ジャパンラグビーリーグワン開幕から「東芝ブレイブルーパス東京」の名称で活動。

＜名称の由来＞

「東芝ブレイブルーパス東京」の「ルーパス（lupus)」はラテン語で狼座の意味。狼のように組織的な群れをなし、相手が戦意喪失するような緻密かつ野性味あふれる追い込みと、勇猛果敢な（brave=ブレイブ）プレーを身上とする意味を込めて名付けられた。

チームスピリットは「猛勇狼士」。「勇狼」はブレイブルーパスを、「士」は紳士、侍を意味する。プレーだけでなくグラウンド内外で紳士たるもの、そして侍の精神を持った武士であり、その姿をしっかり見せるという意味。

■　当社とアスリートスポーツとのかかわり

当社は、前述のグループ会社でのラグビー部の活動に加え、アーチェリーのトップアスリート２名をアスリート社員として採用する等、スポーツとのかかわりを多く持っております。

また、「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2026」のゴールドスポンサーとしても協賛しております。

当社は今回のパートナーシップを通じて、ラグビーの発展を促進するだけでなく、日本中のファンや地域社会に感動を与えたいと考えております。そして、その感動を与える姿勢に刺激をもらいながら、当社では世界のさまざまな課題に向き合い、技術や製品・サービスの開発を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

「がんばれ、東芝ブレイブルーパス東京！」

以　上